

### 放課後児童クラブの 予算確保

奥野 英介 議員  
(鷹山/伊勢市選出)



#### 問

放課後児童クラブは、市町が熱心な保護者とともに費用の確保や人的配置などに苦勞しながら取り組んできています。

平成24年度予算では市町への説明が不十分なまま、市町が要求する運営補助金の所要額が確保されておらず、市町との信頼関係が揺らぐことにもなりかねません。市町との信頼関係という観点からも今後の対応をお聞きます。



#### 答

厳しい財政状況のもと、予算の確保に最後まで努めてきましたが、結果的に、要望に十分応える予算額を確保できませんでした。今後は、指導員への支援を行うとともに、事業推進に当たっては、市町に丁寧の説明し、市町等との信頼関係をしっかりと構築しながら進めていきたいと考えます。

その他の質問事項  
○南部地域活性化局 ほか

### 関西との広域連携

北川 裕之 議員  
(新政みえ/名張市選出)



#### 問

平成22年に関西の7府県の参画により関西広域連合が発足し、関西での広域的な取り組みは連合の事業で実施されるようになるなど、連携を強めています。

関西とのつながりの強い伊賀地域をはじめ、本県にとって重要な関西との広域連携について、関西広域連合への部分参加を含めた三重県の参加について、知事の考えをお聞かせください。

#### 答

本県は関西広域連合に参加して加府県と連合に参加していない2県と共に関西での官民連携に取り組んでいます。関西地域での広域連携は連合の事業にシフトする傾向にあるのも事実です。観光分野を例にとると、関西地域での広域的な取り組みにより、一層の集客を図る必要があります。連合への部分参加について選択肢の一つとして議論していくことを全く排除する必要はないと考えます。

その他の質問事項  
○県の海外誘客戦略 ほか



### 肉用肥育子牛増産システム 構築事業

岩田 隆嘉 議員  
(自民みらい/伊賀市選出)



#### 問

松阪牛や伊賀牛などのブランドは、宮崎県などの子牛産地に支えられており、口蹄疫の発生で市場が休止された間は、子牛の確保に大きな影響が出ました。

県は優秀な子牛の安定的な供給を図るため、今年度から受精卵移植の研究成果を生かした肉用肥育子牛の増産システム構築に取り組んでいます。これまでの状況と今後の方針について伺います。



受精卵移植により生まれた和牛子牛

#### 答

今年度より県畜産研究所の和牛から受精卵を採取して県内酪農家の乳牛に移植を行うなど、平成25年度までに約60頭の子牛が生産される予定です。加えて、優秀な血統の和牛子牛の確保に向け、と畜牛の卵巣を活用した体外受精卵移植にも取り組むなど、肉用肥育子牛の県内自給体制づくりにつながるようシステムの構築を進めます。

その他の質問事項  
○防災・減災対策 ほか

### 中央防災会議による 被害想定との検証

水谷 正美 議員  
(新政みえ/四日市市選出)



#### 問

①三連動地震のマグニチュード8・7を想定した地震被害想定調査の報告がされていますが、現在までの対策により、想定被害がどの程度減少したのか伺います。また、②中央防災会議の調査後に県が実施するマグニチュード9・0を想定した被害想定調査では、県だけでなく基礎自治体の地域別減災効果がわかるようにすべきです。

#### 答

平成17年3月に策定した被害想定調査では三連動地震の発生により、県内では最大で死者が約4,800人、建物等の経済的被害が約3兆円と推定されています。これまでの対策により平成22年度末で死者約1,040人、経済的被害約0・8兆円の減災効果があったと考えます。

新しい被害想定調査に対する地域別の減災効果の把握については、新地震対策行動計画の策定時に検討していきます。

その他の質問事項  
○四日市港の地震・津波対策 ほか

